

# 教案

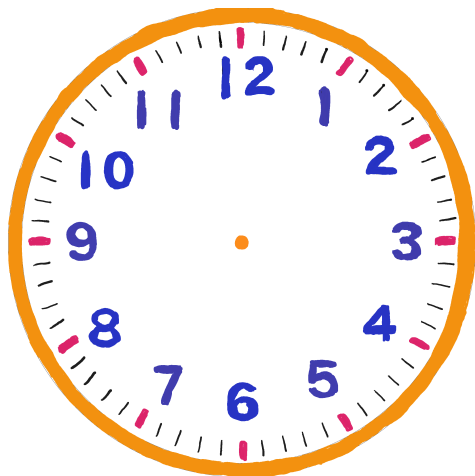
初級クラス 1・2時間目 範囲：初日オリエンテーション（自己紹介など） 教室用語/あいさつ/数字/日付表現/時刻/曜日/月 ひらがな（あ～さ行） 目標：日本語の学習に対して意欲をもたせる。		
「教師の発問」・学習活動	・学生の反応	・留意点等
<p>T：こんにちは。（プリントやテキストがあれば配る）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板書「P○」（テキストを使う場合はページを板書）</li> </ul> <p>T：はじめまして。○○です。どうぞよろしくお願ひします。</p> <p>T：初めまして。（ノートを指しながら）</p> <p>T：どうぞよろしくお願ひします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・席の近くに行き、一人一人学生の発言を促す。</li> </ul> <p>T：はじめまして。</p> <p>T：○○です。</p> <p>T：よろしくお願ひします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机の上に置くネームプレートを各自作る。（必要に応じて）</li> </ul>	<p>S：初めまして。</p> <p>S：どうぞよろしくお願ひします。</p> <p>S：はじめして。</p> <p>S：Aです。</p> <p>S：よろしくお願ひします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一印象は大切。笑顔でハキハキと話します。</li> <li>・出席を取る場合は、名前が母国での読み方と違うことがよくあります。自分が呼ばれているのだと気付かない学生がいます。その場合は、この日に限り出席簿を見せて、名前の確認を行います。</li> <li>・ネームプレートの作成モデルを見せてあげるといいです。小さく書く学生もいますので、できるだけ大きく書くように。</li> <li>・非漢字圏の学生は自分の名前をまだカタカナで書けないこともありますので教えてあげてください。</li> </ul>
<p>○ケータイ電話を授業中に使用しないことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所定の場所がある場合はそこへ。（出席番号順に並べると誰が出していないか分かりやすい）</li> </ul> <p>☆「教室用語」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室用語を拡大したものを黒板に提示。</li> </ul> <p>「名前」「試験」「宿題」「聞いてください」「見てください」「書いてください」「質問してください」「教えてください」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一つずつリピート練習をする。</li> <li>・イラストで確認しながらもう一度リピート。</li> </ul> <p>「ゆっくり言ってください」「もう一度言ってください」「待ってください」「教えてください」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一つずつリピート。</li> <li>・イラストで確認しながらもう一度リピート。</li> </ul> <p>「いいですか」「いいです」「だめです」「わかりますか」「わかります」「わかりません」「はじめましょう」「休みましょう」「終わりましょう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一つずつリピート。</li> <li>・イラストで確認しながらもう一度リピート。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リピート（文字を見ながら）（絵を見ながら）</li> <li>・リピート（文字を見ながら）（絵を見ながら）</li> <li>・リピート（文字を見ながら）（絵を見ながら）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A3で拡大した教室用語を用意するといいです。</li> <li>・教室用語の簡単なイラストを用意しましょう。（ペーパーサートで作るのもいいと思います。）</li> <li>・教室用語は授業の間にさっと出して確認できるようにしておきます。（慣れるまで黒板の端に貼っておくのもいいです。）</li> </ul>

## 教案

<p>☆挨拶など基本会話</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>絵カード</b>を用いる。</li></ul> <p>「はじめまして。」 「どうぞ、よろしくお願いします。」 「おはようございます。」 「こんにちは。」 「こんばんは。」 「おやすみなさい。」 「さようなら。」 「ありがとうございます。」 「すみません。」 「お願いします。」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 何度か<b>テンポ良くリピート</b>。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ リピート</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 大切な会話表現ですので覚えられるまで日頃から練習を重ねましょう。</li></ul>
<p>☆数字</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 0～10まで一つずつリピート。</li><li>・ 0～10をFCでもう一度確認。 (上から、下から、ランダム読みで練習する)</li><li>・ 11～20まで一つずつリピート。</li><li>・ 11～20をFCでもう一度確認。</li><li>・ 黒板に30、40、50、60、70、80、90を書きながら読む。(リピートさせる)</li><li>・ 黒板に21、34、45、57、68、77、89、93…ランダムに数字を書いて読み、リピート。</li><li>・ 学生が出来そうときは、質問する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 0～10までリピート</li><li>・ FCでリピート</li><li>・ 11～20リピート</li><li>・ FCリピート</li><li>・ 30～90のリピート</li><li>・ リピート</li><li>「93」</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ FC0～20を用意する。</li><li>・ 特別な読み方のところは強調して読み意識させます。</li></ul>
<p>☆日付表現</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>イラスト (カレンダー)</b> を黒板に提示</li></ul> <p>「(日付を指して) 今日」 「明日」 「明後日」 「昨日」 「一昨日」</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ リピート</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 日付表現はこれから徐々に覚えられるようにすればいいので、紹介程度でいいと思います。</li></ul>

# 教案

☆時刻		
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 黒板に『1:00』と書く。 「一時」</li><li>・ 12時まで確認していく。</li></ul> <p>・ 黒板に「1:05」と書き、「05」のところの下線を引く。」 「五分」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 55分まで確認していく。(30分は二種類)</li><li>・ 5、15、25、35、45、55</li><li>・ 10、20、30・半、40、50</li><li>・ 30分、半</li></ul> <p>それぞれ練習</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 黒板に時間をランダムに書き、時間を言わせる。</li></ul> <p>・ 黒板に「?:?」(分かりませんのイラストを出す) 「何時何分」 「(時計を指差して) 何時何分？」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ここで時間割の説明をする。(必要に応じて) (例)</li></ul> <ol style="list-style-type: none"><li>① 13:00~13:45</li><li>② 13:55~14:40</li><li>③ 14:50~15:35</li><li>④ 15:45~16:30</li></ol>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 時刻リピート</li><li>・ 分リピート</li></ul> <p>「1時20分」 「5時5分」</p> <p>「何時何分？」 「9時30分」</p>	<p>「4時」「7時」「9時」に注意。「よんじ」「ななじ」「きゅうじ」とならないよう。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 「ふん」と「ぶん」の使い分けに注意する。</li><li>・ 余裕があれば「半」も指導しましょう。</li><li>・ 5分単位で「ふん」、10分単位で「ぶん」が理解できるように。</li><li>・ 時計イラストを用いて針を動かしながら練習してもいいです。</li></ul>





## 教案

<p>☆ひらがな</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・五十音図を黒板に提示する。</li><li>・あ行、か行を一文字ずつゆっくりはっきり読む。</li><li>・あ行、か行を続けて読む。</li><li>・一人ずつ発音を確認する。</li><li>・十字入りボードを黒板に貼る。 「あ（ボードに書く）」 「一、二、三、あ（書き順を言いながら書く）」 「（誤った例を書いて）だめです。」</li><li>・鉛筆を宙に浮かせ、黒板を見ながら書く真似をさせる。</li><li>・「い」「う」「え」「お」も同様にする。</li><li>・練習帳やプリントなどで「あ」「い」「う」を書く練習。</li><li>・FCで読み方の定着 「あい」「うえ」「いえ」「あお」「かお」</li><li>・一斉読み</li><li>・席順読み</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・読み方の練習</li><li>・書く練習</li><li>・「え」を指で書く。</li><li>・「お」を指で書く。</li><li>・練習帳で書く練習。</li><li>・FCで読み方の確認。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・たくさん褒めて、話すことへの抵抗をなくしてあげましょう。</li><li>・筆順は色を変えて書くと分かりやすいです。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・「か」行も「あ」行同様に進める。</li><li>・かきくけこの下に「がぎぐげご」を書く。 「（上を指しながら）かきくけこ」 「（下を指しながら）がぎぐげご」</li><li>・一人ずつ濁音の発音確認。</li><li>・濁点のつけ方の悪い例を黒板に示す。</li><li>・書き方練習</li><li>・FCで読み方の定着 「えき」「かぎ」「きく」「いけ」「こえ」「かぐ」「かげ」「くぎ」「ここ」「ごご」</li><li>・一斉読み</li><li>・席順読み</li><li>・「さ」行、「ざ」行も上記のように進めていく。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・リピート</li><li>・読み方練習</li><li>・書き方練習</li><li>・FCで読む練習</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「か行」と「が行」の発音に注意。聞き取れているか、発音できるかの確認しましょう。</li></ul>